小児Ⅰ　様式Ⅰ－１

**小児看護学実習(Ⅰ) 評価表**

**(保育所・保育園)**

**学　生　自　己　評　価**

実習場所 　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　学籍番号

実習期間 　　年 　月 　日 ～　　年 　月 　日　　　学生氏名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 行　動　目　標 | 配点 | 評価 |
| 実　　　　　践 | ① | 子どもの権利の概念を理解できる | ５ |  |
| ② | 子どもの社会的環境、集団の意義を理解し行動できる | ５ |  |
| ③ | 健康な子どもの心身のアセスメントができる | ５ |  |
| ④ | 子どもの成長発達段階に応じたコミュニケーションができる | ５ |  |
| ⑤ | 子どもの心身の状態をアセスメントしながら日常生活習慣の援助ができる | ５ |  |
| ⑥ | 子どもの成長発達段階に応じた遊びの援助ができる | ５ |  |
| ⑦ | 子どもの安全を考えた環境整備ができる | ５ |  |
| ⑧ | 保育･養育チームの一員であることを自覚し的確な時期に正確な報告ができる | ５ |  |
| ⑨ | 実習の目的・目標にそった予習・復習を行い実習できる | ５ |  |
| ⑩ | 実習にふさわしい態度で臨むことができる | **10** |  |
| カンファ　　レンス | ① | カンファレンスの目的・必要性を理解しカンファレンス技法を学習し、実践できる | ５ |  |
| ② | テーマの選択が実習目標に添っている | ５ |  |
| ③ | 論理的に考えを述べる事ができる | ５ |  |
| ④ | カンファレンスの運営を積極的に行い今後の学習に活用できる | ５ |  |
| 記録 | ① | 根拠となる客観的な事実を用いて書く事ができる | ５ |  |
| ② | 文献を活用することができる | ５ |  |
| ③ | すべての提出物の期限を守ることが出来る | **10** |  |
| 体調管理 |  | 自己の健康管理ができ、体調不良時に報告ができる　　欠席　　　日遅刻　　　日　(　　　)時間　　　早退　　　日　(　　　)時間 | ５ |  |
| 学生自己評価(４項目について)　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 総合得点 |  |
| 担当教員　　　　　　　　　　　　印 |

九州看護福祉大学　看護学科